



合理性の教科書②

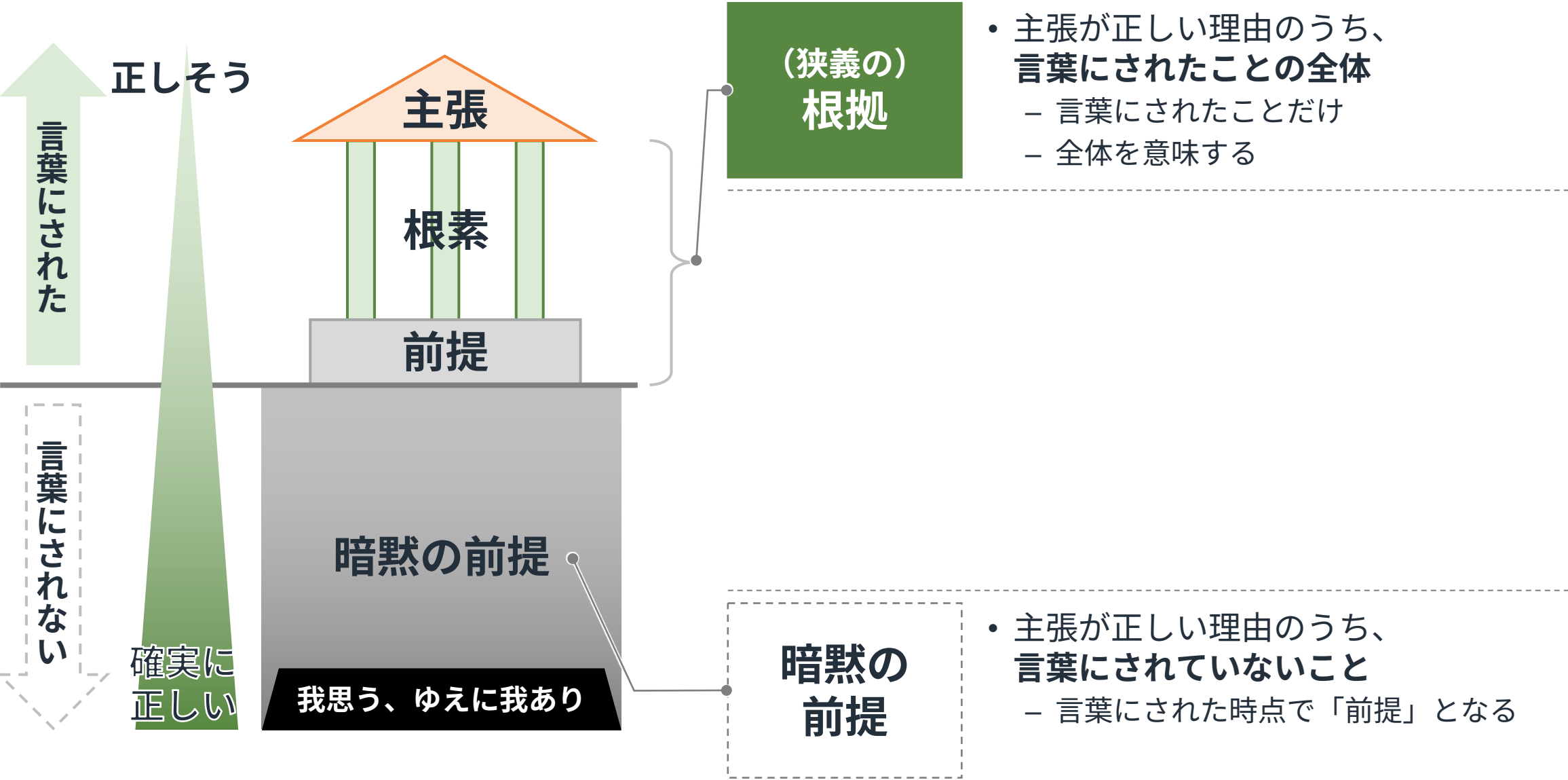
正しさの支え方 文中スライド集

2026/8/15

Liffel

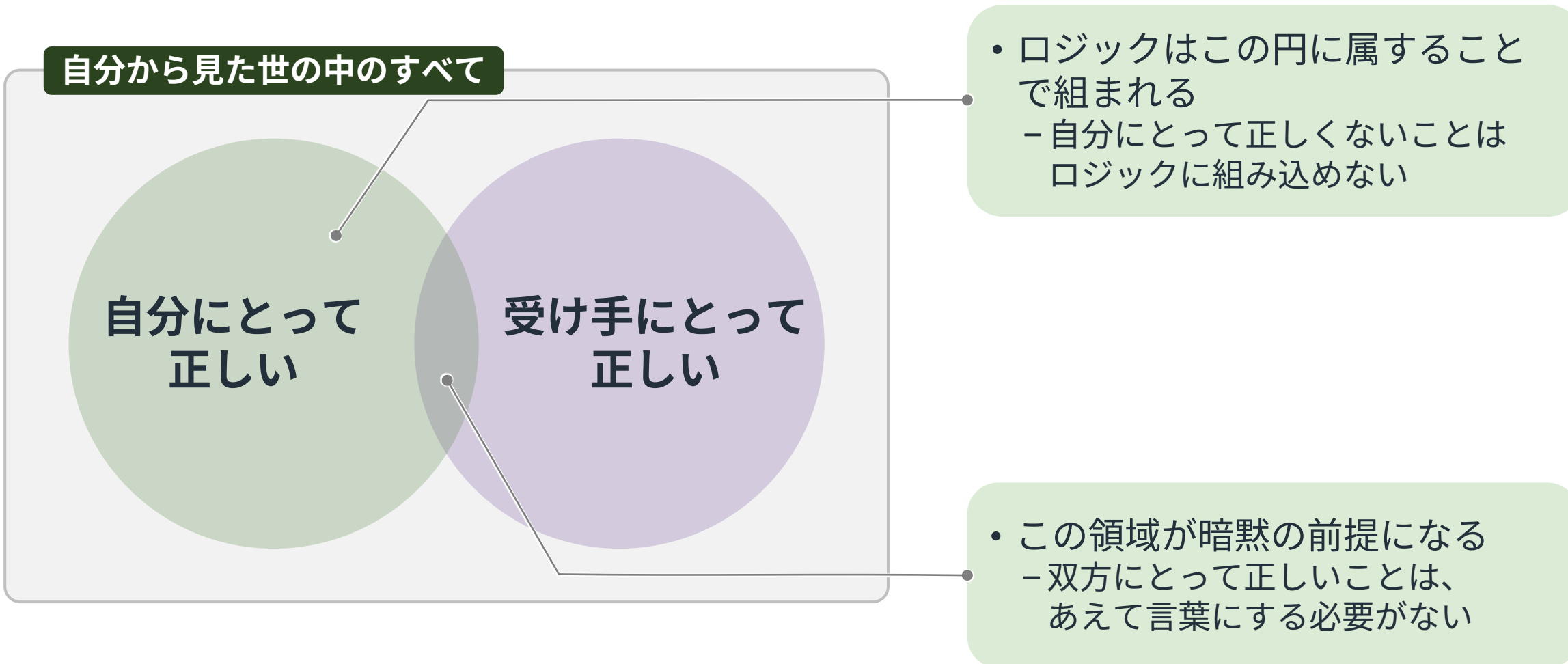


根拠（主張が正しい理由）の構造



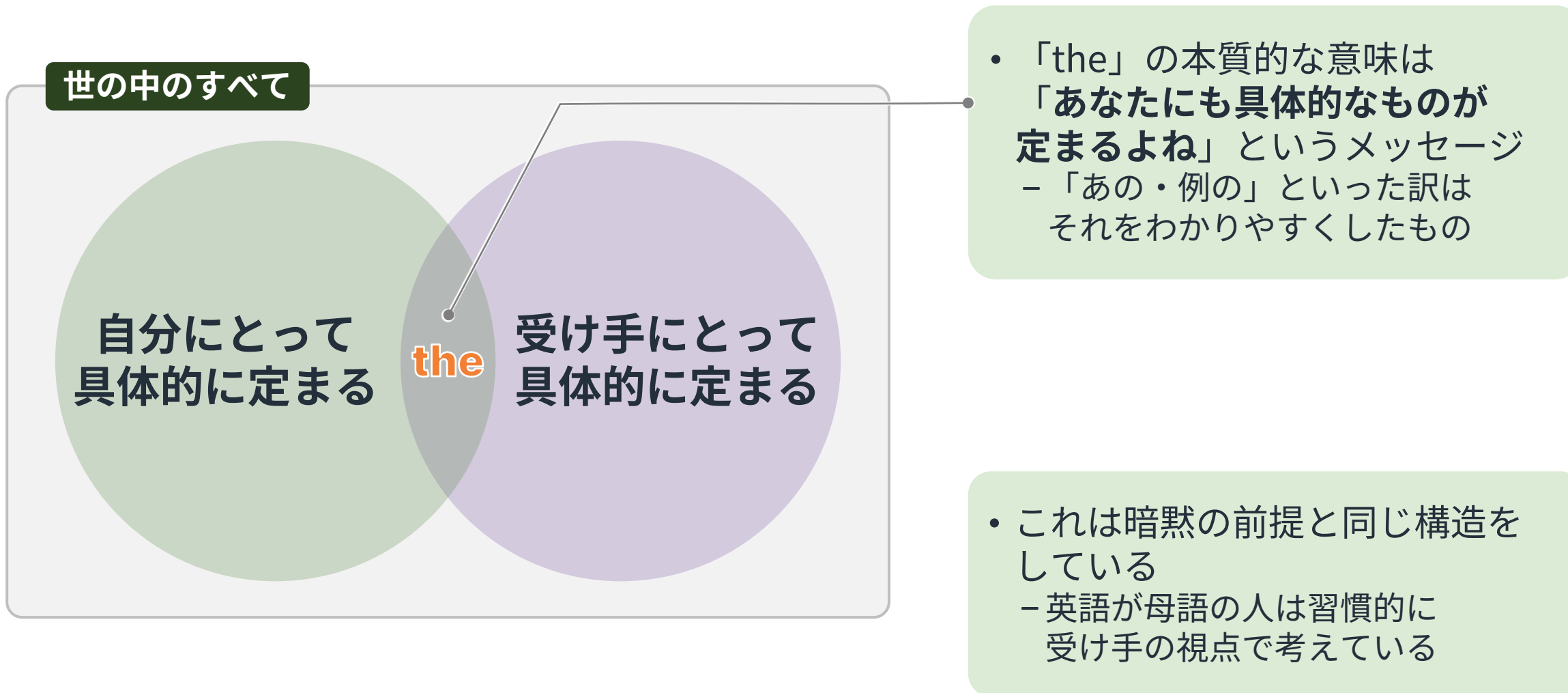
言葉にされること、されないこと

- 私たちは「受け手にとっての正しさの程度」で、何を言葉にするかを判断している



英語の「the」と暗黙の前提

- 英語の「the」は「受け手にとって具体的か」を考える言葉である

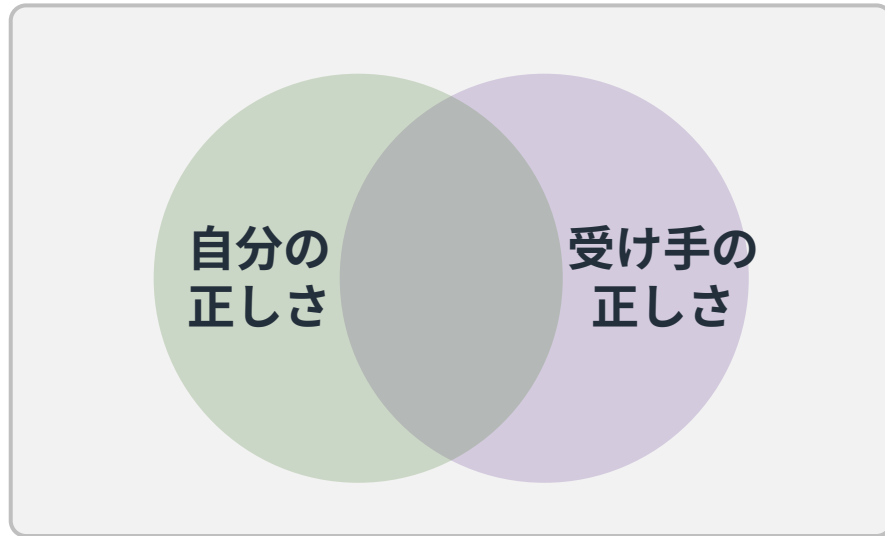


ハイコンテキスト・ローコンテキスト

- 日本はハイコンテキスト文化である

- ハイコンテキスト環境ではあらゆることが暗黙の前提になりやすく、合理的思考には向かない

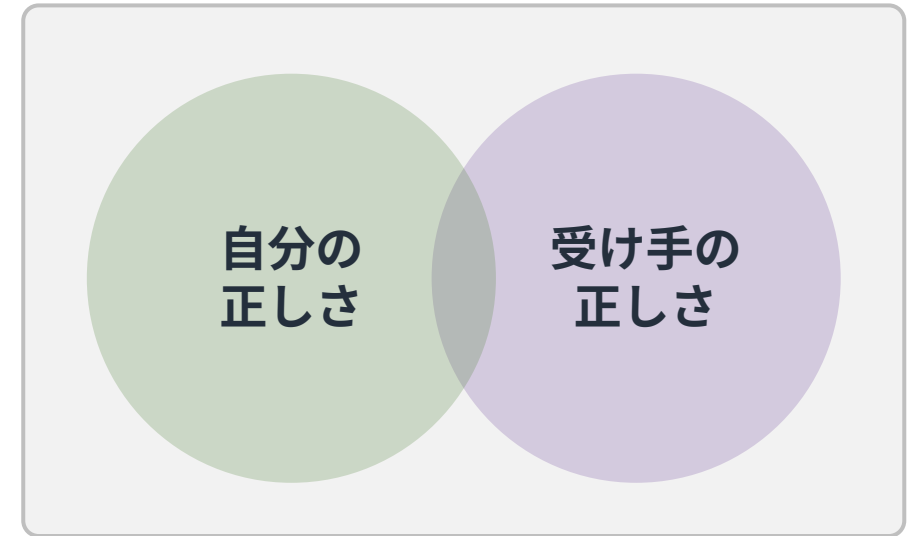
ハイコンテキスト



- 正しさの重なりが**大きい**

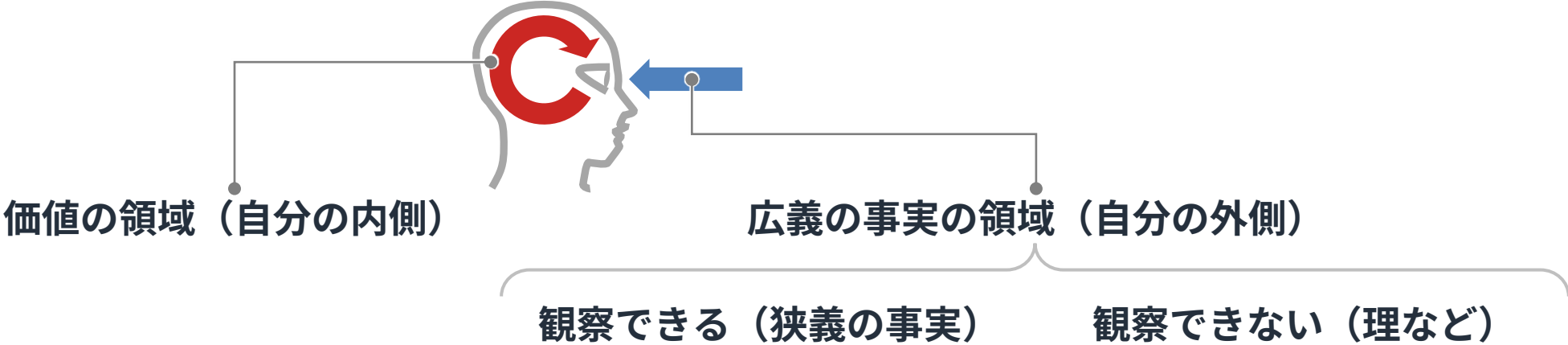
- 「知識・常識」と見なされることが多い
- 暗黙の前提が多く、コミュニケーションが言葉以外のものに依存しやすい

ローコンテキスト



- 正しさの重なりが**小さい**

- 「知識・常識」と見なされることが少ない
- 暗黙の前提が少なく、コミュニケーションは主に言葉で行う



正しさが
万全である

ない

- 万人にとって正しい価値は存在しない

データ

- 実際に観察された事実

定説（知識）

- 万人が正しいと見なす原理・法則

正しさが
万全ではない

価値

- 感情・希望・信念など
– 正しさは人それぞれ

推測と虚偽

- 事実に関する、万人には正しくない言説

正しさが「万全である」とは | 非合理的とは

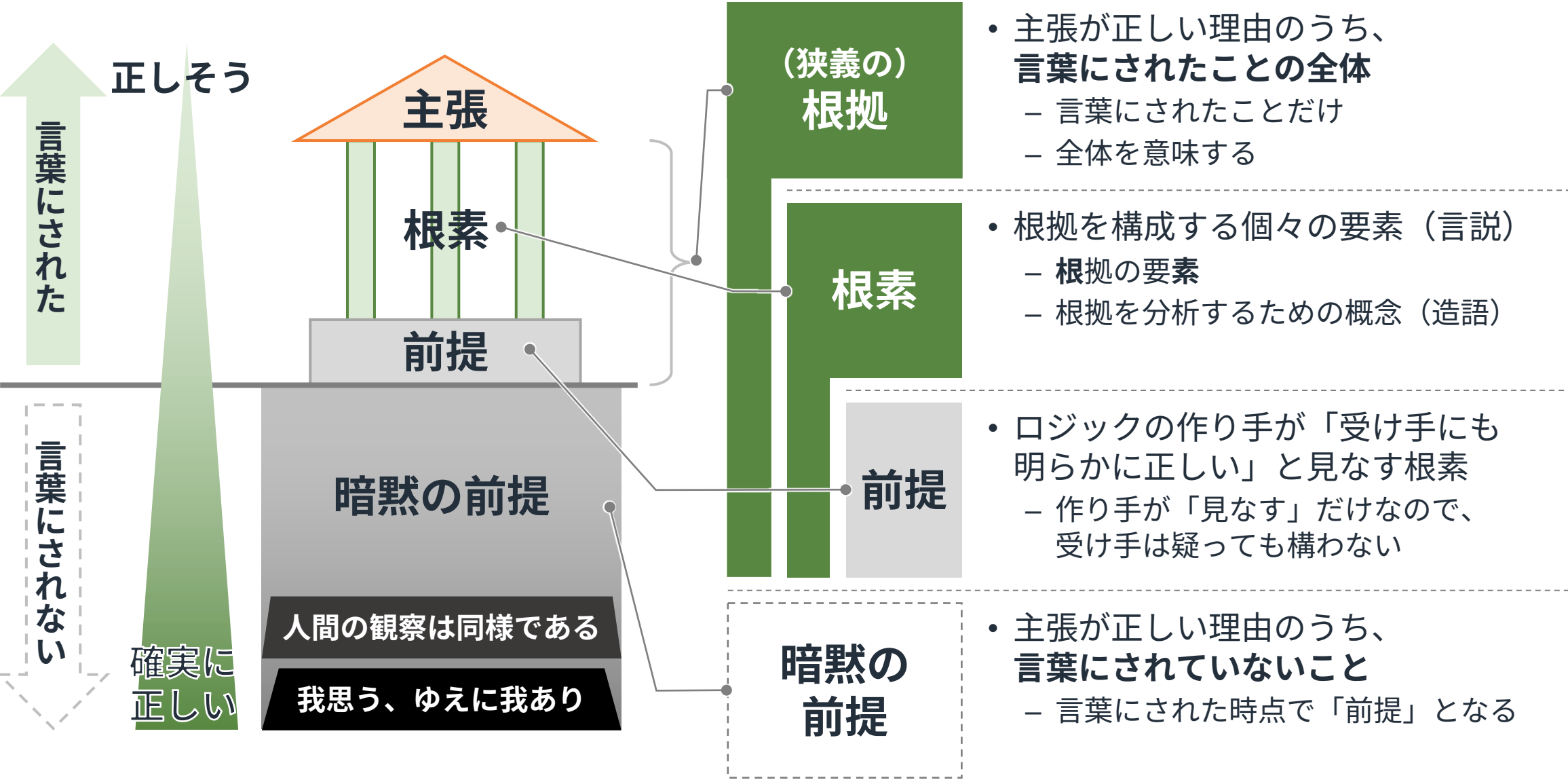


正しさが万全ではない
(非合理的)

正しさが万全である
(合理的)

- 本書における「非合理的」は、あくまでも「not 合理的」という意味
 - 数学的に表現すると、「合理的」の補集合
- 「非合理的 = 確実な間違い」ではない
 - 「非合理的」の中には「確実に正しいとも間違いとも言い切れないこと」が含まれる

根拠の構造



データとは | 言説の分類

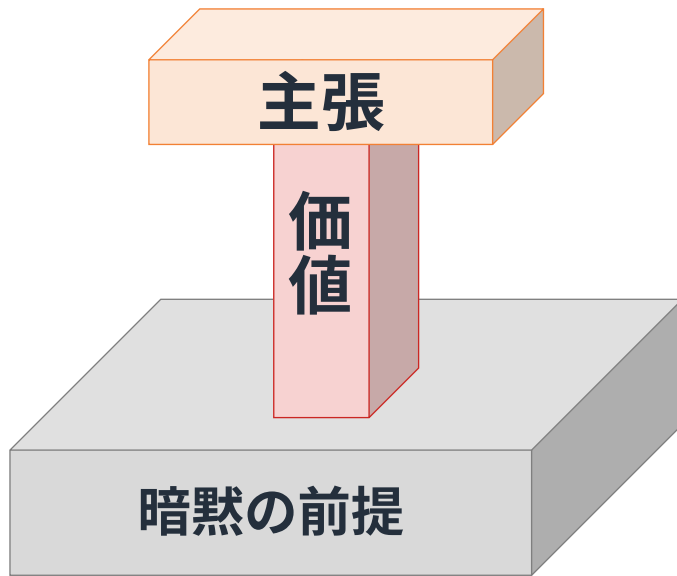


データとは | 言説の分類



価値論法とは

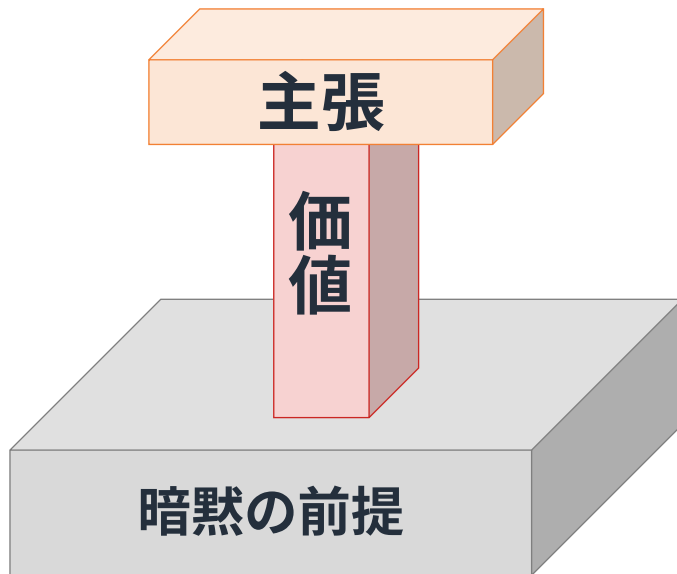
価値論法



- 価値を前面に押し出しても、合意形成は期待できない
 - 万全に正しい価値は存在しない

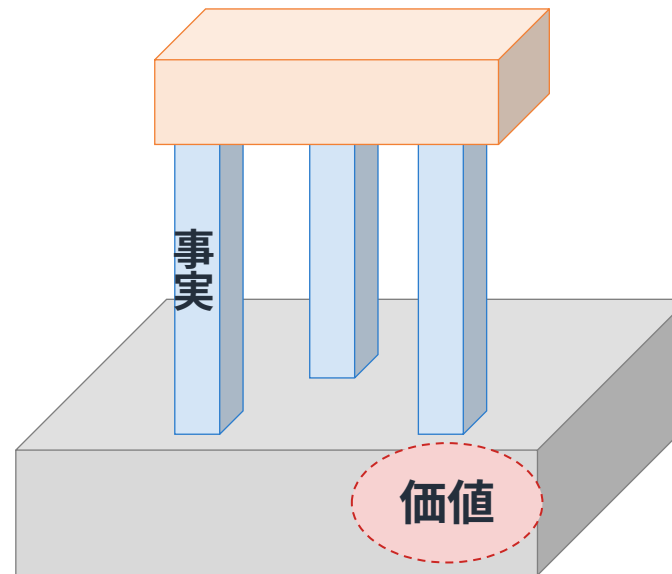
価値論法とは

価値論法

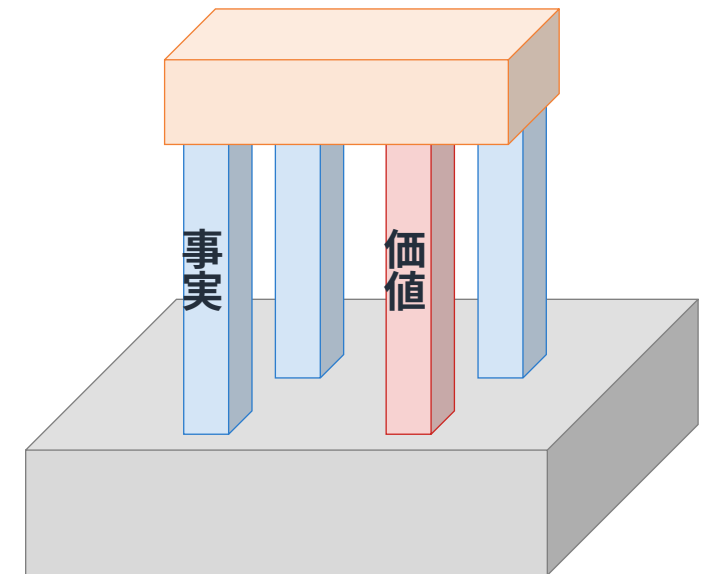


- 価値を前面に押し出しても、合意形成は期待できない
 - 万全に正しい価値は存在しない

他者と正しさが揃いやすいロジック

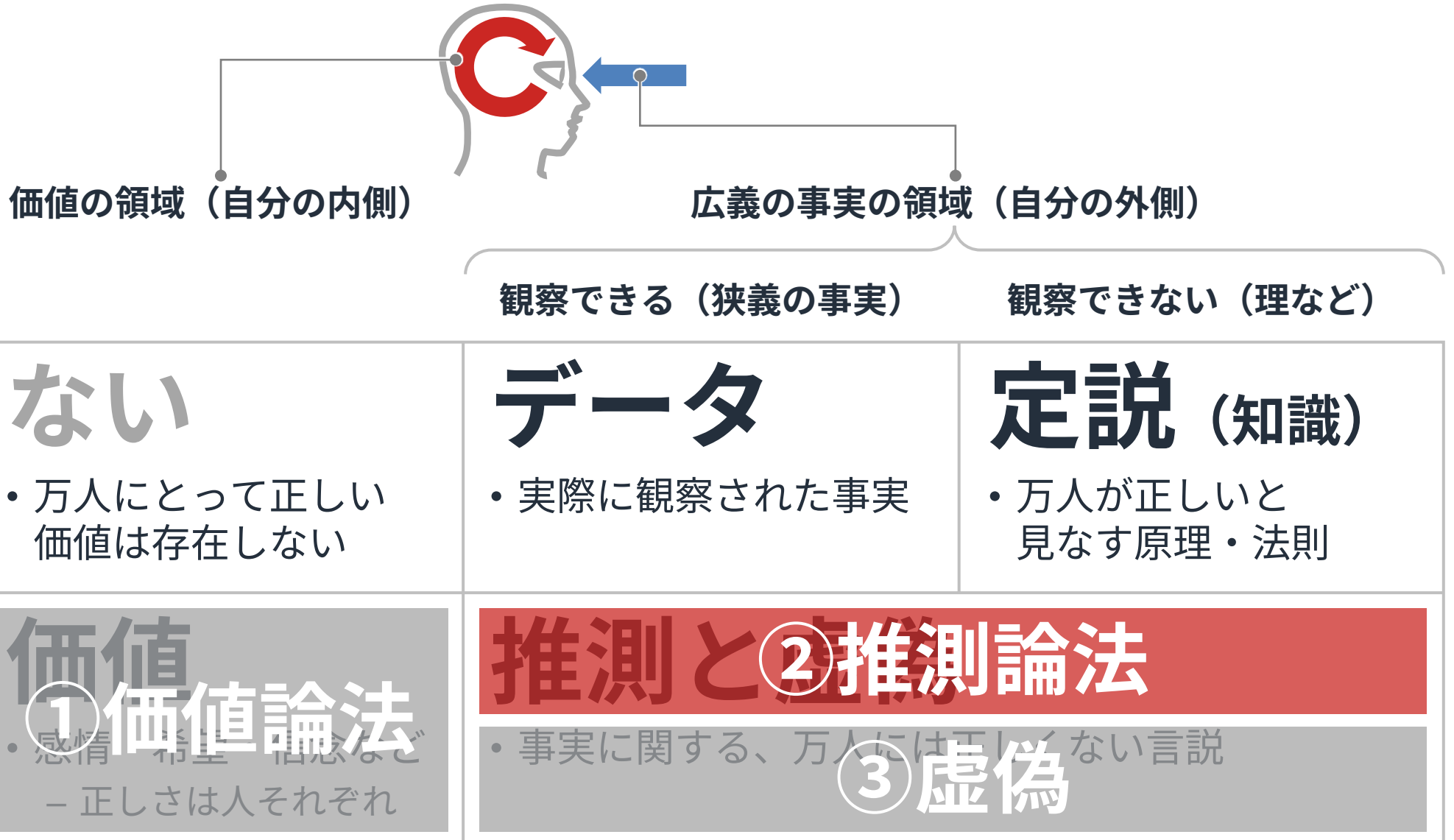


- まずは事実ベースでロジックを組む
 - 事実なら正しさが揃う
 - 価値は暗黙の前提とする



- 価値をすり合わせる必要があるなら、当然そうする
 - 価値のズレを感じるときや、完全に合意したいとき

データとは | 言説の分類



推測と虚偽 | 事実の領域における、正しさが万全でないことの全体像

推測		- 正しさが万全ではないことが他者にも明らかであること - 語尾に「だろう」などの言葉がついているか（簡易的な見分け方）
虚偽	嘘	
	ミス	- 正しさが万全でないことを万全かのように扱うこと 根拠に対してのみ使う言葉とする（決め事）
	エセ知識 （その他）	意図的な虚偽 - 意図の有無が問題なので、事実を隠すこと・わかりにくくすることも嘘である（決め事） 意図せず事実を歪めてしまうこと - 本人が気づいたら修正する類の虚偽 - 入力ミス・計算ミスなど 嘘でもミスでもない虚偽 - 本人が正しいと思い込んでいるだけのこと - 間違った知識・思い込み・妄想など

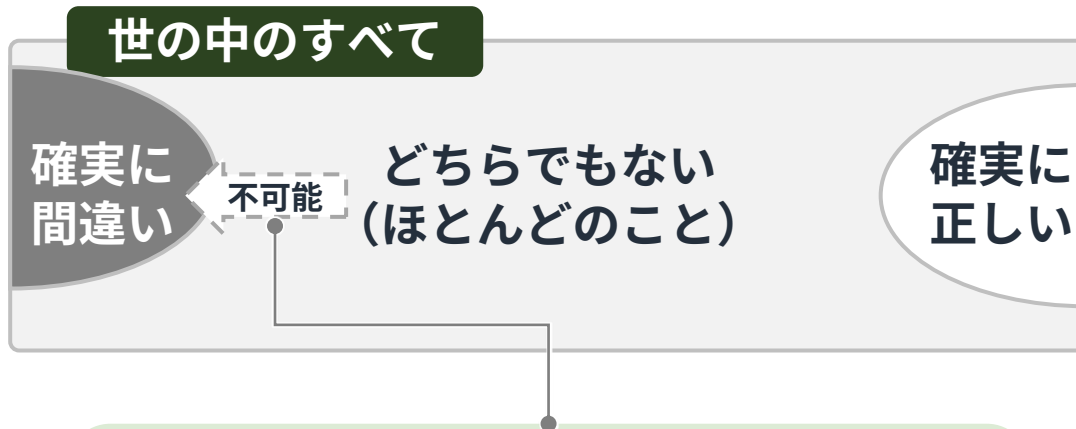
推測論法のタイプとその対策

	①検証不可能タイプ	②検証可能タイプ
推測の 検証 (定義)	• 原理的・物理的に不可能 – データの集めようがない、など	• 可能 – 検証にかかるリソースは問わない
具体例	• オカルト • 反事実論法 – 反事実：現実起きたことの反対	• 大半の推測論法 – 陰謀論などもこちら
対策	原則① • 主張を偽と見なすところから始める（方法的懐疑） – 正しさが万全でない根拠は不当と見なす	
	原則② • できるだけ決断しない（自由の条件） – 推測の正しさが証明されるかもしれない以上、不要なリスクは取らない	
主張を偽と見なす		推測の確からしさがデータによって示されるなら、主張を真と認める

方法的懐疑とは

- 方法的懐疑とは、少しでも正しさに疑念があることは「間違い」だと考えること
 - この考え方のもとでは、「確実に間違っている」とは言い切れないは「間違っている」と考える

実際の世の中



- 何かを「確実に間違っている」と言い切る方法は存在しない
 - 言い換えると、ほとんどのことは正しいかもしれない
- これでは正しさが積み上がらない

方法的懐疑による考え方



- 一方、「（ほぼ）確実に正しい」と言い切る方法はわかっている
 - これが「合理性」と呼ばれるもの
- そこで、確実に正しそうなこと以外はすべて間違いだと考える

日本人の死者数の推移

- 日本人の死者数は、2022年にそれまでの傾向から外れた激増を見せた
 - 2022年前後に、日本人の健康に悪影響を与えるイベントが起きたと考えられる

日本人の死者数（万人）



前年からの増減（万人）





推測と虚偽 | 事実の領域における、正しさが万全でないことの全体像

推測		- 正しさが万全ではないことが他者にも明らかであること - 語尾に「だろう」などの言葉がついているか（簡易的な見分け方）	
虚偽	嘘	意図的な虚偽 - 意図の有無が問題なので、事実を隠すこと・わかりにくくすることも嘘である（決め事）	
	ミス	- 正しさが万全でないことを万全かのように扱うこと 根拠に対してのみ使う言葉とする（決め事）	意図せず事実を歪めてしまうこと - 本人が気づいたら修正する類の虚偽 - 入力ミス・計算ミスなど
	エセ知識（その他）	これ以降は考えない（虚偽とは、嘘かミスだとする） 嘘でもミスでもない虚偽 - 本人が正しいと思い込んでいるだけのこと - 間違った知識・思い込み・妄想など	

虚偽を発見できるか | 誤型の見分け方

- 原則として、虚偽を発見することは不可能である
 - 虚偽を見分けるための基準を用意できない

判断基準

実際のロジック

虚偽以外の
誤型

何を正しい/
誤りと見なすか

突き合わせ

- ここがおかしい
– 枠とのズレで
判断できる

虚偽

判断基準が
用意できない

- 何もわからない
– 枠がない

コミュニティの種類

非合理的コミュニティ (感情コミュニティ)



合理的コミュニティ

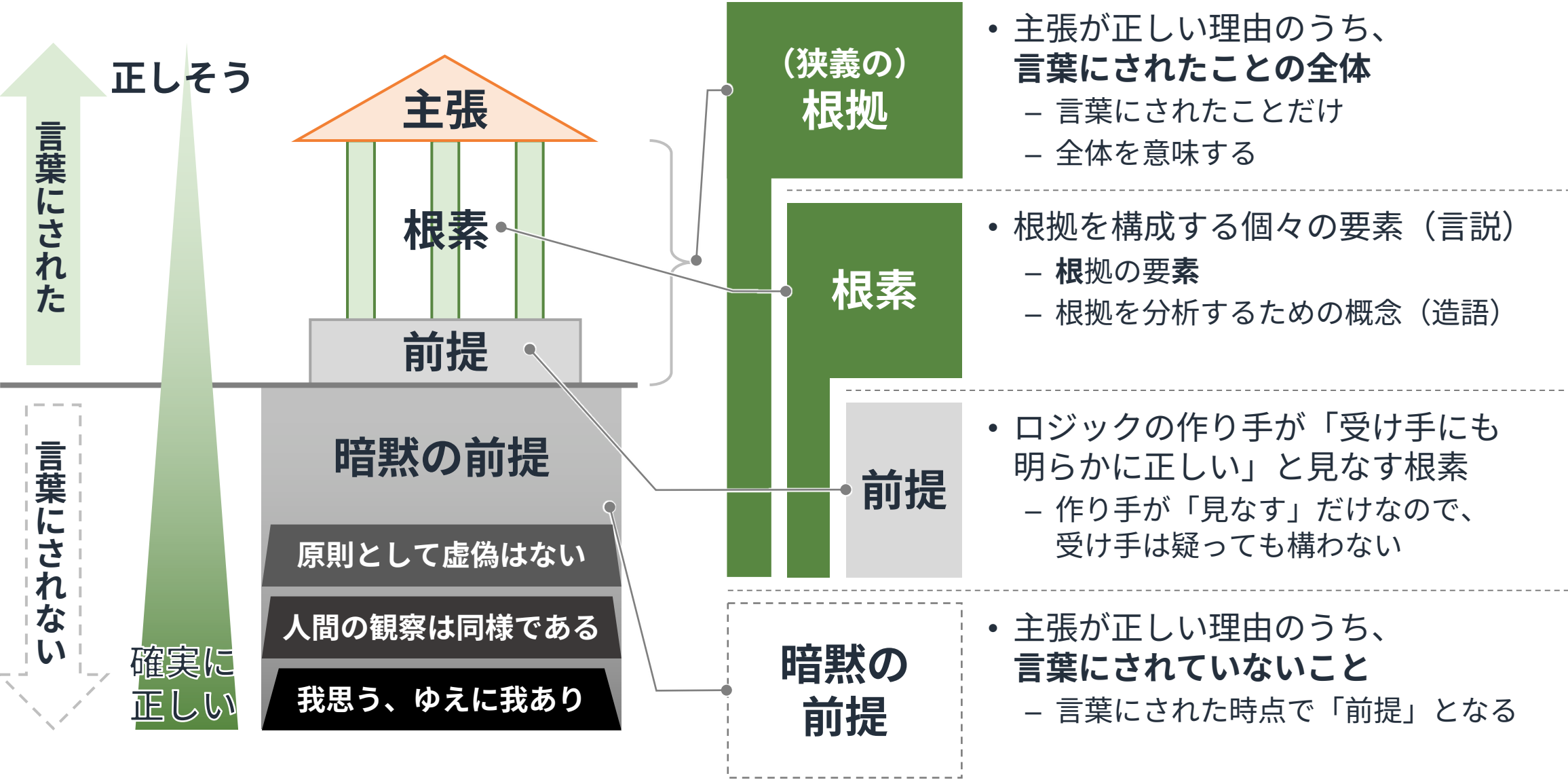


非効率コミュニティ



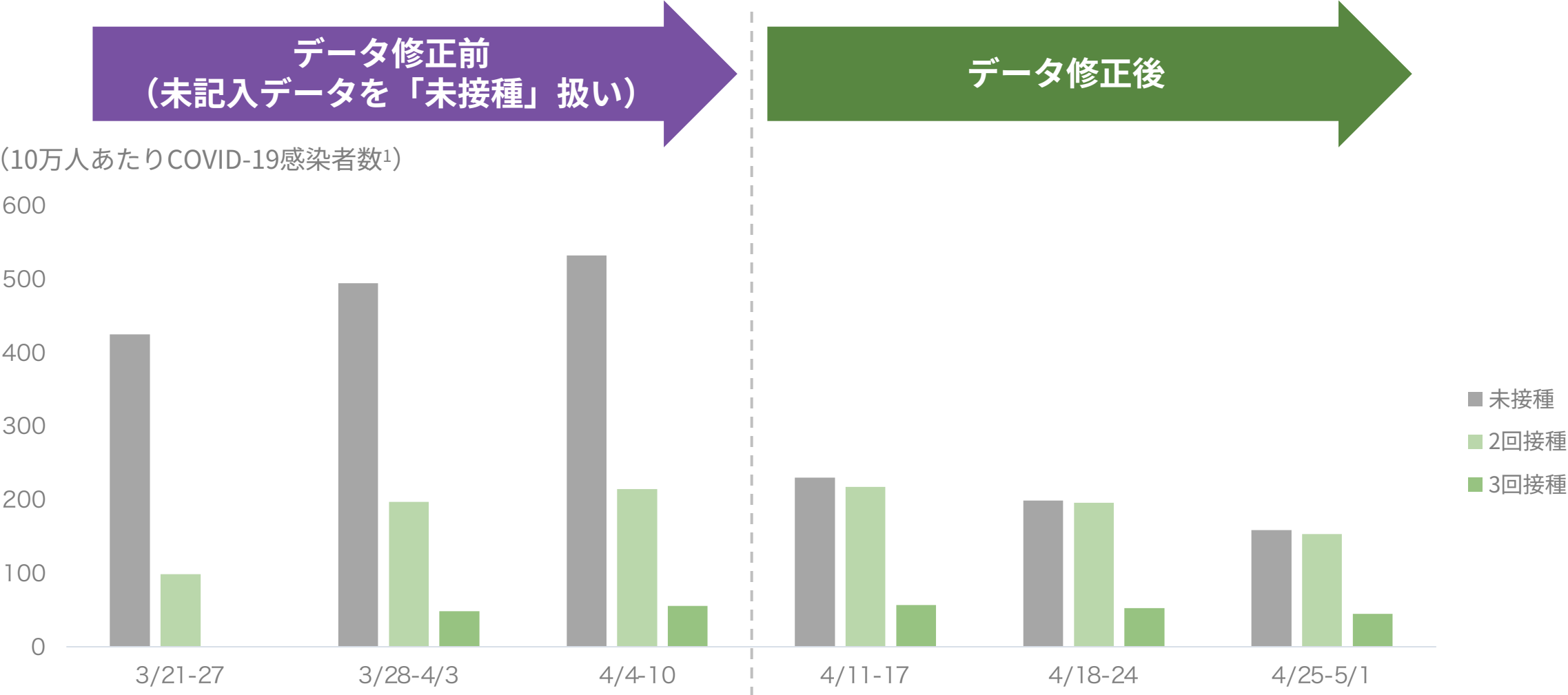
疑う対象	正しさ	・疑わない – 議論そのものをしない	↔	・疑う – 無条件に誰かの正しさを認めず、議論する		
	嘘	・疑わない		・原則として疑わない – 疑うのは有事のみ	↔	・疑う – 嘘を当然と見なす
	例	・宗教団体 ・日本的なコミュニティ – 上意下達の組織		・民間企業 ・大学・研究機関		・ネットのコミュニティ – 匿名掲示板 – オープンなSNS

根拠の構造



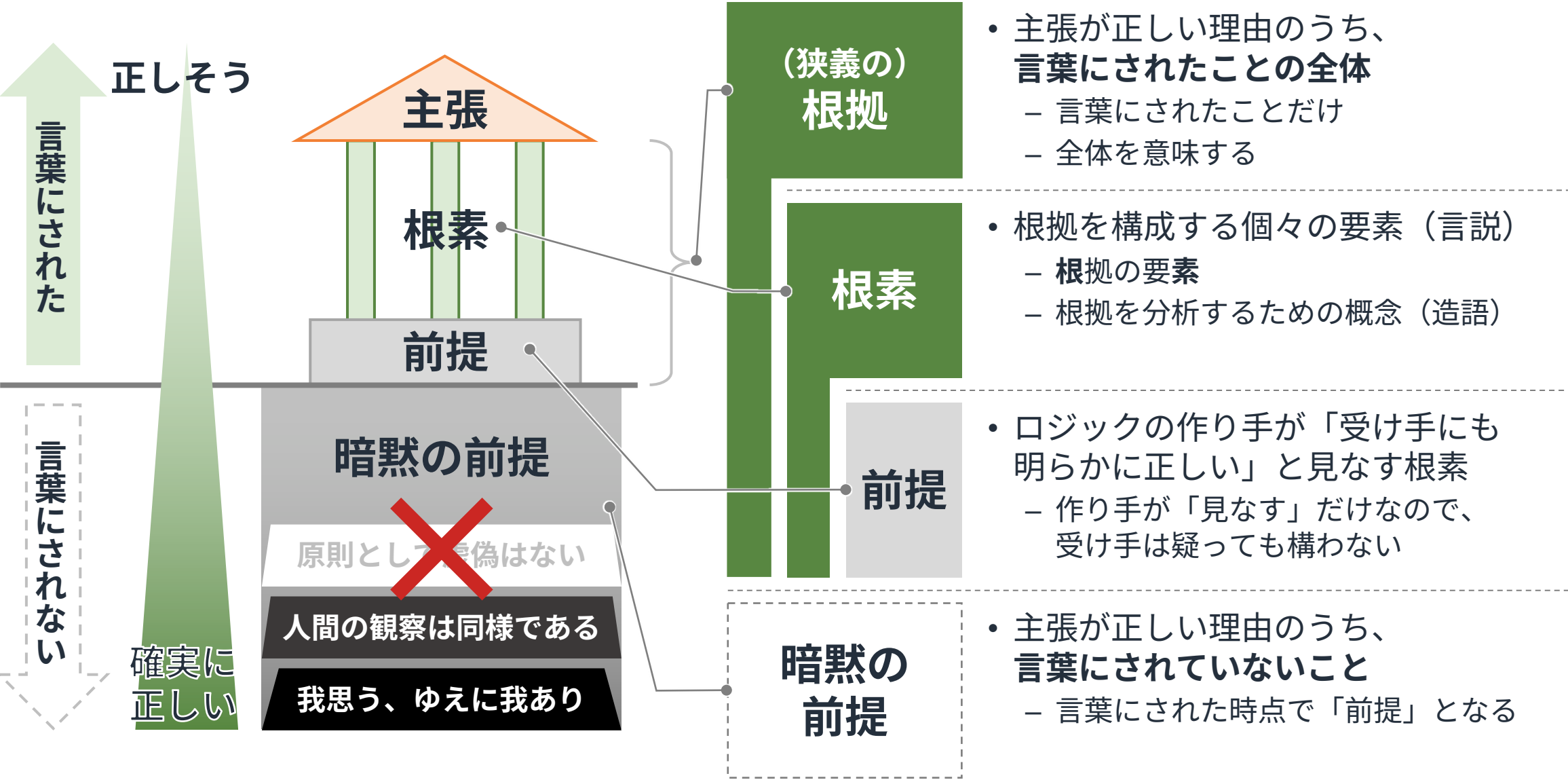
厚労省によるワクチンデータ虚偽事件

ワクチン接種歴別 COVID-19新規陽性者数の推移（2022年）



Source: 『新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード』第79回-83回（厚生労働省）をもとに作成
1. 12歳以上の新規陽性者

根拠の構造



合理性における嘘

- 例：研究でのデータ捏造
- **どんな理由があっても正当化できない**
 - このタイプの嘘は合理性を破壊する行為

プライベートな嘘

- 例：托卵や浮気（を伝えないこと）
- **ケースバイケースとしか言えない**
 - 当事者の問題であるという整理にするしかない

方便になる嘘

- 例：お世辞、空元気など
 - ものごとを円滑に進めるための嘘などが該当する
- **その嘘で不利益を被る人がいないと確信できるなら、ついてもよさそう**
 - 現実的に、このタイプの嘘をまったくつかずに生活するのは不可能では？

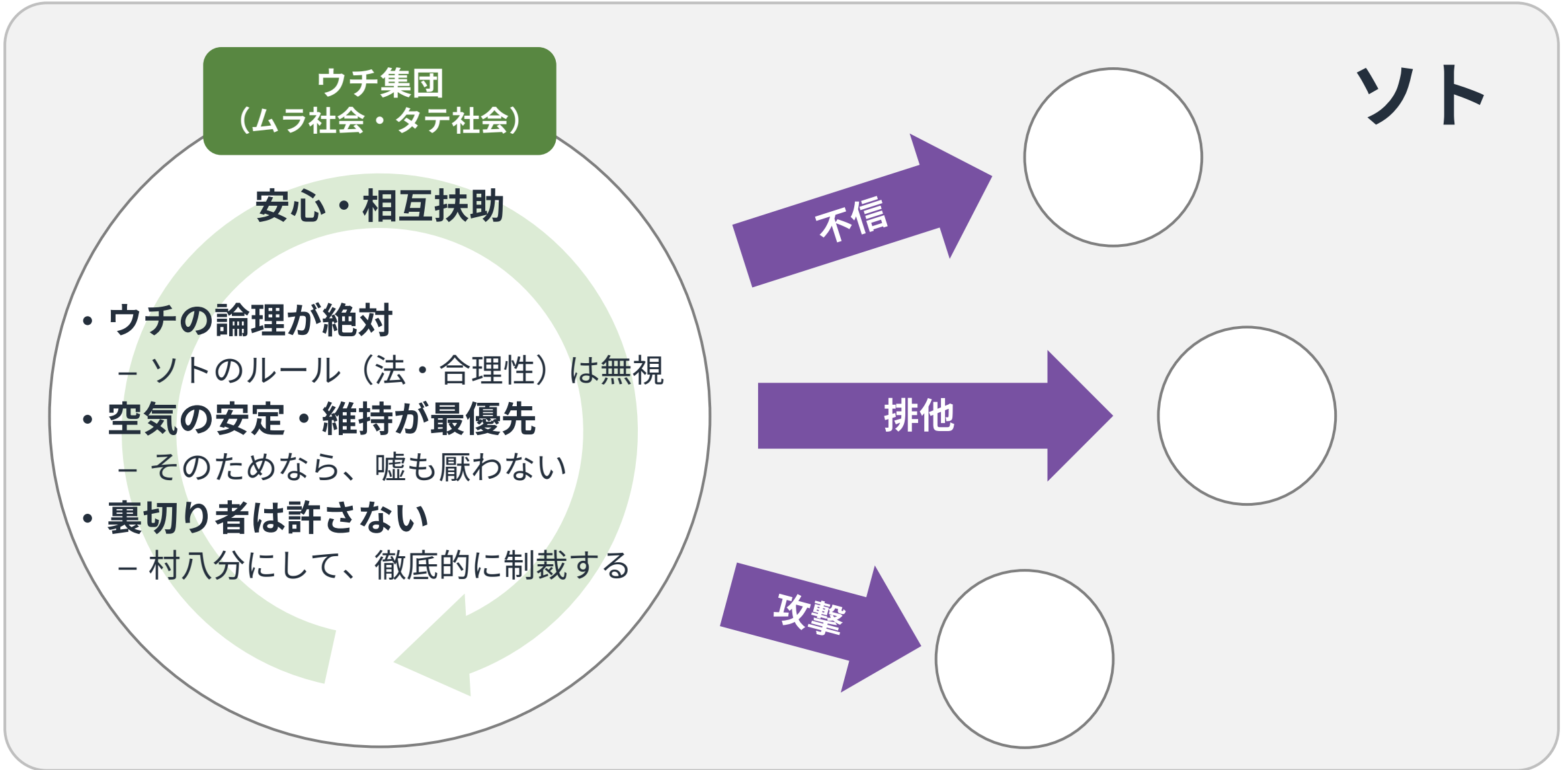
する

しない

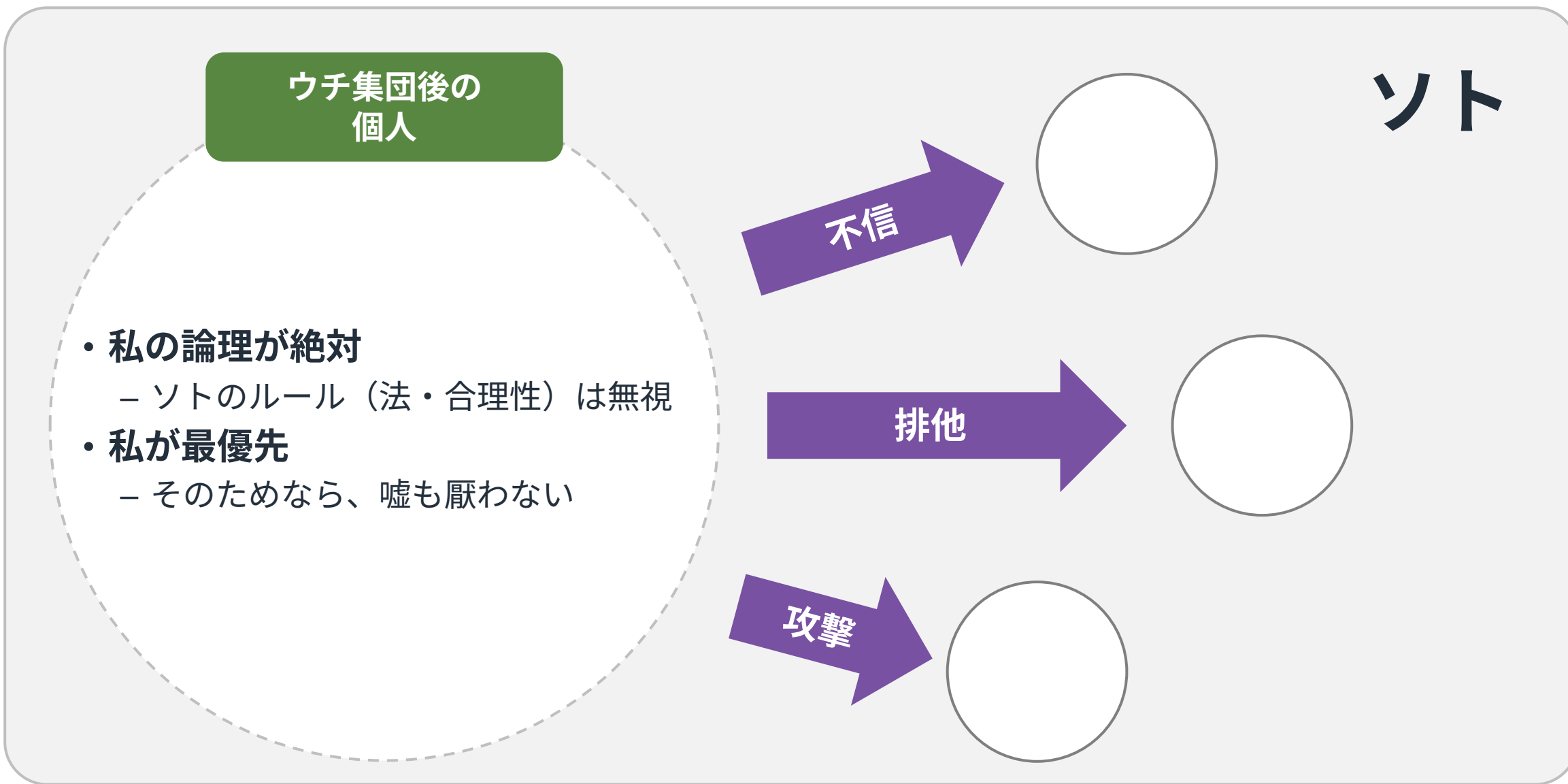
他者は嘘に基づいて意思決定をするか

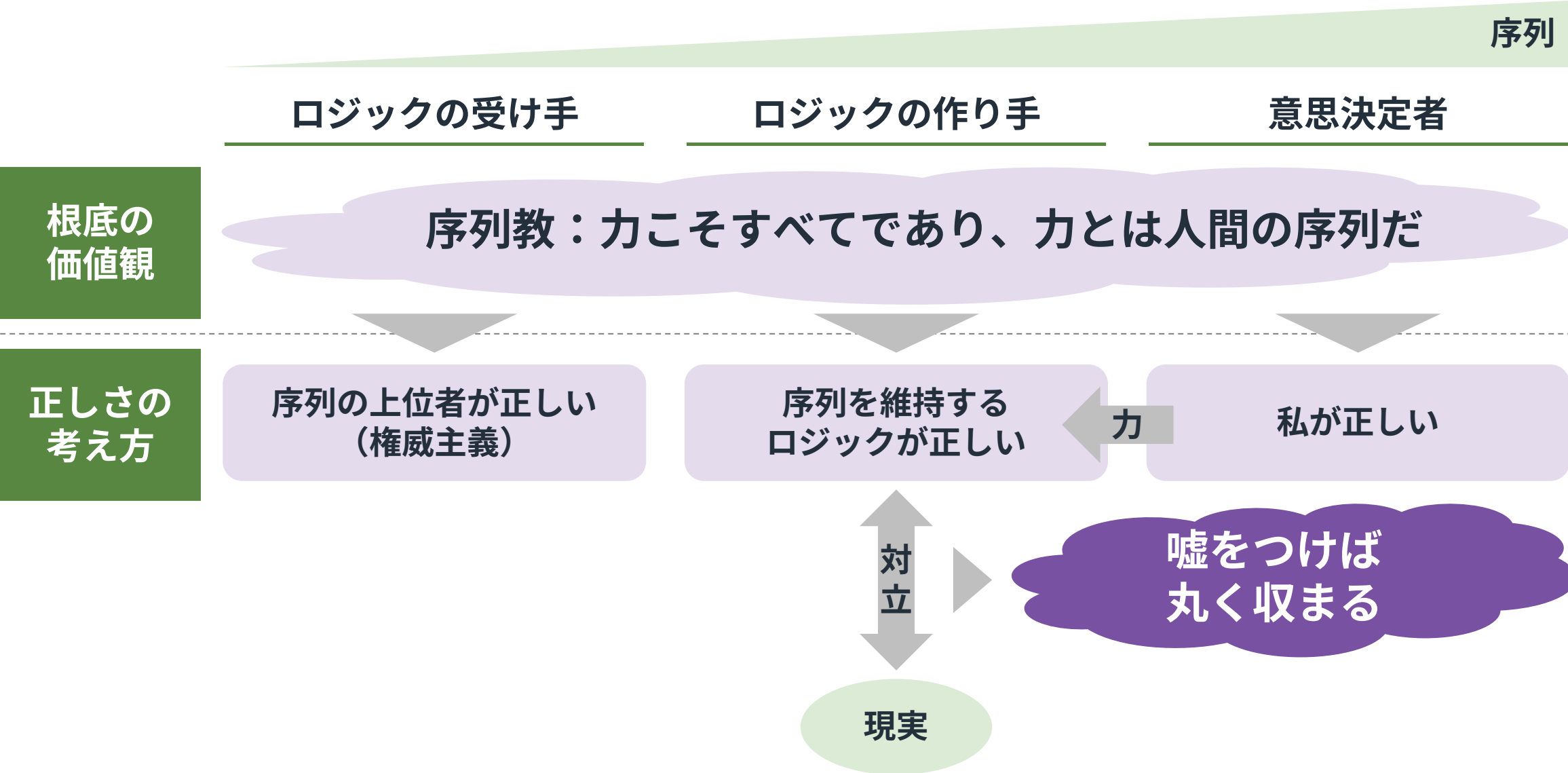
誠実な伝え方：自分のロジックをどう伝えるか

	考えること	誠実な伝え方（広義の嘘がない伝え方）
内容の 取捨選択	- 考えた・調べた情報のうち、何をどこまで伝えるか？ - 情報が多すぎるとわかりにくい	- 大原則 - 誠実な範囲で分かりやすくする - 判断を受け手に委ねる - すべての情報を受け手からアクセス可能にする - すべてを伝えるかは状況による - ノイズは除去する
構成	- どういう順序で伝えるか？ - 情報の並べ方のこと	- 嘘とは無関係 - どのような構成であれ、受け手に伝わる情報は変わらない
(狭義の) 伝え方	- ある内容を、どう伝えるか？ - どのメディアで伝えるか？ - どのように表現するか？	- 強弱をつけすぎない - こちらで強弱をつけすぎるのは、情報を取捨選択しているのと同じ - シンプルなデザインに留める



ウチ集団の崩壊後に残るもの





Thank you

Learn to make your life lovely.

© Liffel Inc. All Rights Reserved.
<https://liffel.com/>

The Liffel logo features the word "Liffel" in a dark blue, serif font. A small green leaf icon is positioned above the letter 'i'.